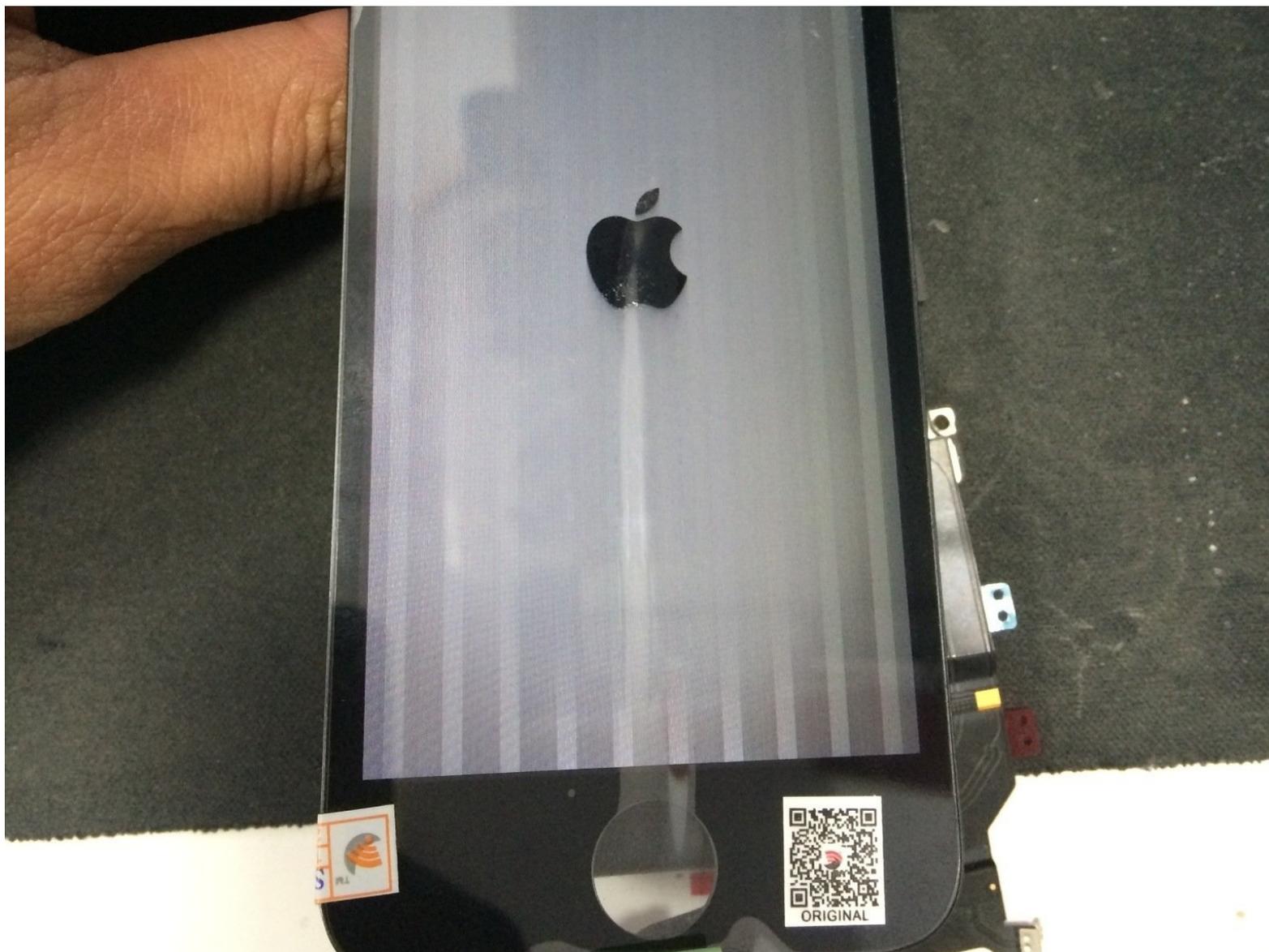




交換後のiPhoneの画面に出る縦線の修理方法

故障したiPhoneの画面の修理

作成者: Matt Zieminski



はじめに

iPhoneの画面を交換した後に出る縦線は自分で修理する人が直面する共通の問題です。多くの場合、これは画面が欠陥品というわけではなく少しの修理で解決することができます。

これらの手順を踏んで修理をした後に、直らない場合は、部品が壊れているのかもしれませんが。

ツール:

- [Anti-Static Wrist Strap](#) (1)
- [Anti-Static Mat](#) (1)
- [Detailing Brush](#) (1)
- [Latex or nitrile gloves](#) (1)
- [保護メガネ](#) (1)
- [Isopropyl Alcohol](#) (1)

手順 1 — 静電気の放電(ESD)



- [ESD](#)はディスプレイ故障の背後にある一般的な犯人です。
- スマートフォンを修理する前に身体とデバイスの静電気を放電します。これをする最善の方法は、[帯電防止マット](#)を使い、[帯電防止リストストラップ](#)を装着することです。

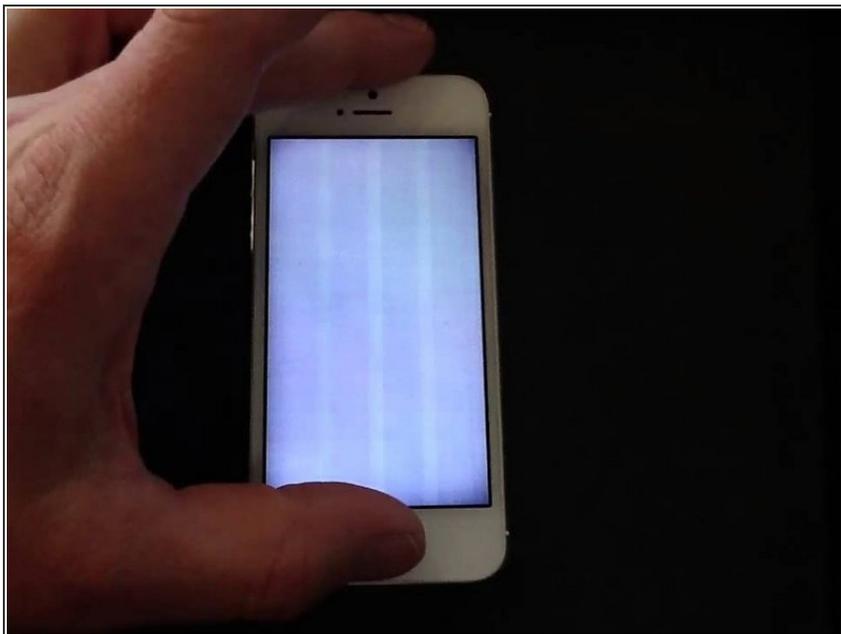
手順 2 — 接続のチェック



- ケーブルとロジックボード上のディスプレイの接続をチェックします。埃や汚れは接触不良を引き起こすので、柔らかいブラシと高濃度(少なくとも90%)のイソプロピルアルコールで掃除する必要があります。コネクタをよく見て、汚れを必要なだけ取ってください。

⚠ イソプロピルアルコールは敏感肌と目に刺激を与えます。イソプロピルアルコールを使って作業をするときは、グローブと保護メガネを着用してください。

手順 3 — 損傷したICコネクタ



- ディスプレイには損傷する可能性のあるICが取り付けられています。左上角と右上角を特にチェックしてください。何らかの損傷の兆候があれば、一部が壊れているので、新しいものと交換する必要があります。

スクリーンは壊れるものです。